

判別精液の使い過ぎに注意

著・Mandy Smidt/ABS GLOBAL ジェネティックサービス・スペシャリスト

判別精液の費用が思ったより高くなる場合がありますが、それは営業担当者があなたを騙しているからではありません。多くの酪農家は、使用する判別精液の本数が多すぎて、過剰な出費をしているのです。

繁殖プログラムに判別精液を使用するための綿密な計画を立てないと、費用は容易く増加します。精液の請求額以外に、余分なストローがもたらす費用を計算したことがありますか？判別精液の管理を分析することによって、単なるストロー単価よりも多くの費用が明らかになり、また、そのほとんどの費用を削減できるかもしれません。

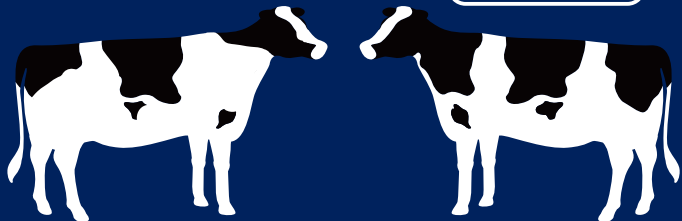
【在庫管理】

判別精液の買いすぎは、ストローを使用してから9か月後の最終利益に最も悪影響を及ぼします。後継未経産牛の余剰頭数分は、すぐに経費と結びつきます。飼料、労働力、施設などにかかる余分な費用の他、過密飼育された未経産牛群に病気が多発する、分娩ペンなどが満員になることで余計なストレスがかかるなど、隠れた費用も発生します。

未経産牛が多すぎると淘汰率が上昇し、全体的な収益性が低下します。未経産牛のためにスペースを確保するためには、生産性の高い成熟牛を必要以上に淘汰することがよくあります。これらの経産牛はすでに飼育費用を回収し、キャッシュフローがプラスになっています。さらに、成熟した牛は生産量が多く、成長に向けてそれほど多くの飼料を必要としません。理想の淘汰率になるよう、必要な頭数のみの未経産牛を生産する計画を立てると、負債を抱えた初産牛のために収入のピークを迎えた経産牛の淘汰を避けることができます。

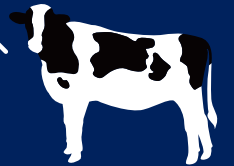
これ以上
近寄らないで!

あなたこそ!



牧場の理想的な淘汰頭数を計算するのではなく、毎年必要な初産牛の頭数を計算してみてください。初産牛の目標頭数から逆算して、何頭の初妊牛が必要かを割り出します。未経産牛の不妊率、初産分娩目標月齢、分娩間隔、死産率、流産率などを考慮します。このデータをもとに、予想される受胎率に基づき、1カ月間に使用する判別精液の本数を決定してください。

最優先で
おねがいします



【投資の優先順位を決める】

判別精液は、酪農業界において最も影響力のある遺伝的ツールのひとつです。判別精液とゲノム検査により、どの雌牛が次の世代を生むべきかを選択できます。未経産牛の生産数をコントロールでき、すべての経産牛や未経産牛が雌子牛を生む必要がないため、後継牛は牛群の中で最も遺伝的に優れた雌牛からのみ生産されるべきです。この方法によって、遺伝的改良を急激に加速させます。より効率的で収益性の高い牛を、より早く生産しましょう。

判別精液の使い過ぎは、遺伝的に劣った牛を多く繁殖させることを意味します。余分なストローは、後継牛を生ませたくない、遺伝的価値の低い牛を妊娠させています。そのような牛には肉牛精液を使用して、生産性や受胎性が低く、健康でない牛の遺伝子を絶ちましょう。

次世代の母牛を抜目なく選びましょう。選抜圧を高めることによって、安定した収益性の高い牛群を素早く作ることができます。あなたが望む遺伝子を次世代に伝える牛のみに、判別精液を使用しましょう。

遺伝的指標を使用して、経営上価値のある優先的な遺伝的形質に基づいて、牛群メンバーを効率的にランク付けしましょう。最も収益性の高い遺伝的形質の組み合わせは、TPIやNM\$など、業界の標準的な指標と一致する場合もあれば、そうでない場合もあります。こ

これらの推奨される形質の組み合わせは、米国の平均的な経営における平均的な牛のもので、牧場の施設、牛乳市場、遺伝的ベースなど様々な要素を考慮して、お客様のニーズを表現するカスタム・インデックスを作成してください。牛群の遺伝的傾向を把握するために、年に一度の遺伝的監査（ジェネティック・オーディット）を強くお勧めします。

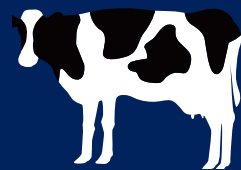
最後に、判別精液の使用が多すぎて、採算の合わない母牛から未経産牛を生産しすぎてしまうことは、交雑牛生産を増やす機会を奪ってしまうことになります。余剰の未経産牛に飼育コストをかけるよりも、交雑種の子牛はより迅速に利益をもたらすことができます。

【目的を定めずにストローを使うのをやめましょう】

人工授精プログラムでベストを尽くすなら、より高価な精液を使用する投資を無駄にしないようにしましょう。経営判断により受胎性の高い牛を推進する場合は、より少ない本数を、より少ない繁殖回数で使用しましょう。繁殖プログラムが最大限の効率を発揮している場合、通常精液と判別精液では、未経産牛や若い経産牛の受胎率にはほとんど違いが見られません。

繁殖結果が悪いのは、1つの影響から来るものではありません。繁殖アドバイザーと共に、主なパフォーマンスの評価を定期的に行いましょう：

狙いを定めて...



- 繁殖を成功させるための栄養は最適化されていますか？繁殖年齢を迎えたすべての雌牛の高すぎる負のエネルギーバランスと、ボディコンディションスコアが高くなるのを防ぎましょう。痩せすぎ／太りすぎの雌牛は、周産期の不調の悪循環を引き起こし、妊娠の遅れに繋がります。そして空胎日数の長い牛は、過度の調整を受ける傾向があり、周産期の不調や代謝異常のリスクが高くなるのです。

- 牛は健康で、ストレスフリーでしょうか？牛の快適性、周産期プログラム、適切な飼養密度、疾病管理、乳房の健康、暑熱対策はすべて牛が妊娠しやすいかどうかに影響します。
- 分娩ペンでの手順は、生殖器官の健康を守っていますか？適切な分娩介助の手順について従業員を教育し、適切な衛生管理で子宮管などへの感染症を回避するための予防策を取りましょう。
- 従業員へのトレーニングは十分に行われていますか？繁殖技術者とシンク・プログラムのチームメンバーに専門家の監督の下で AI プログラム実施に関する知識を得て、スキルを磨く機会を継続的に提供しましょう。

安定した受胎率は未経産牛の頭数を管理し、無駄のない後継用未経産牛プログラムを可能にします。受胎率が正確に予測できるようになれば、酪農家は月に決められた本数の判別精液を使用することができます。これにより、月ごとに使用する本数をなんとなく推測し、将来の運営の非効率性に繋げるのではなく、必要な未経産牛の頭数を正確に把握できるようになります。

【成功へのプラン】

判別精液がより高価であるという理由で、牧場の運営コストは増加しません。判別精液を戦略的に導入すれば、経営上もメリットがあるはず。判別精液を賢明に使用している牧場は、遺伝的改良を加速し、交雑種子牛の販売頭数を最大化することができます。しかし頭数管理計画なしに、あるいは繁殖能力が劣る状態で、やみくもに判別精液を使用することは、多くの現金を失う早道となるので注意しましょう。